

2018年2月18日（日）学習院大学

文部科学省委託事業 外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業（2017年度）
日本語教育学会主催シンポジウム「外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成
—モデルプログラム開発に向けて—」

モデルプログラムの開発 について

浜田麻里（京都教育大学）・菅原雅枝（東京学芸大学）
和泉元千春（奈良教育大学）・川口直巳（愛知教育大学）
中山あおい（大阪教育大学）

1

プログラムの構造

2

養成・研修内容のタイプ（内容・実施組織・対象）

	養成機関と対象	研修実施機関と対象
基礎教育	大学 教員免許を取得する学生	教育委員会／学校他 管理職・在籍学級担任 教科担当・その他学校職員
専門教育	大学 教員免許を取得する学生 日本語教育を専攻する学生※ （※将来的には多様な可能性）	文部科学省／教育委員会等 外国人児童生徒等担当教員 日本語学級担当教員
支援員教育	地域の団体 （国際交流協会／NPO等） 支援員になろうという者	地域の団体 （国際交流協会／NPO等） 支援員として活動している者

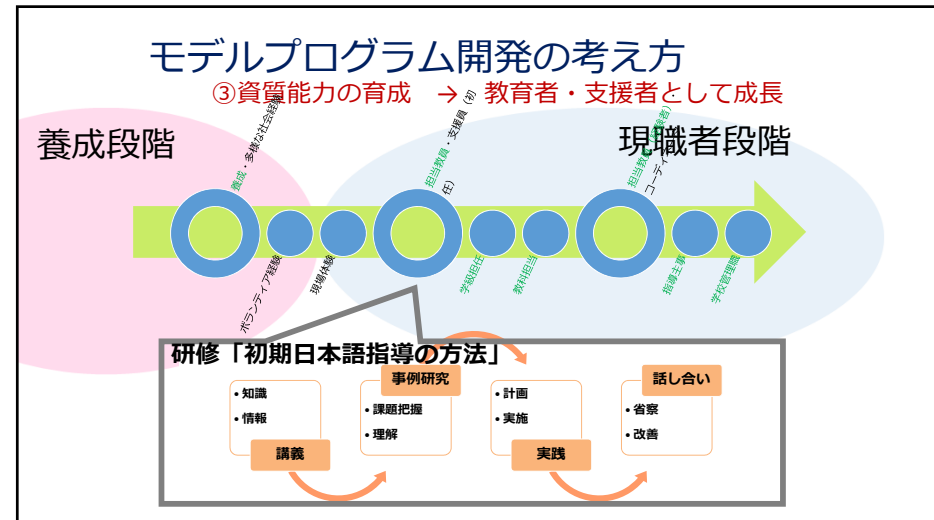
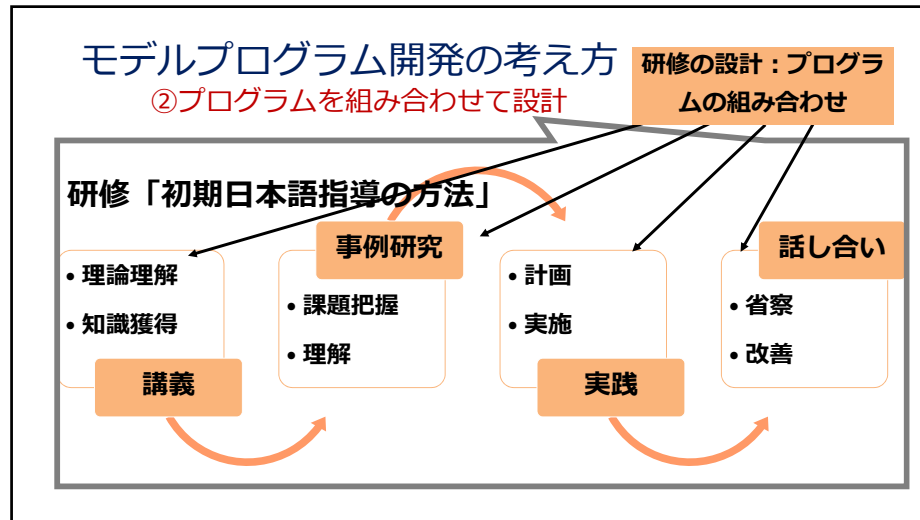
3

モデルプログラム開発の考え方

①養成・研修現場の多様なニーズ・目的に応じて
例えばある研修現場で…

研修受講教員：
初めて日本語指導の担当になった。
来日直後の子どもへの適応支援・日本語指導
を計画を立てて実施できるようになりたい。

研修企画・担当者：
最近、海外から来る子どもが増えてきた。
担当教員は経験が浅く、初期段階の指導力を
高めるための研修が必要だ。
→「日本語の初期指導の方法」の研修



モデルプログラム開発のポイント

- ① コースの目的等()を選択できるようにする。
- ② 学習者の背景や()に、適切な方法を選択できるようにする。
- ③ 外国人児童生徒()のデザインの実験があまりない場合()に、豊富な具体例を提供する。



KNIT プログラム Kodomo no Nihongo Techers Program

7

カリキュラム・デザインの具体例

8

カリキュラムデザインに際し必要なこと

- どのような資質・能力を養うのか（目標として明示）
- どのような内容を学ぶか（内容はテーマ別に整理する。テーマ例：外国人児童生徒等の現状と受入施策，学力・認知的発達と言語習得，日本語の特徴，日本語指導計画の立て方，...）
- その内容について，どのような方法で学ぶか（講義，情報交換・話し合い，体験活動，...）
- コースの中でどのような順序で内容を配列し，時間を割り当てるか
- 設定した目標に対してどのように評価を行うか

9

